

平成15年12月19日

各 位

会 社 名 株式会社イチヤ
代表者名 代表取締役社長 渡部敏弘
(登録銘柄 コード番号 9968)
問合せ先 取締役管理本部長 吉岡公和
(TEL. 088-823-2638)

大日本スーパーカーボン株式会社との コンサルティング業務に関する合意についてのお知らせ

当社は、平成15年12月19日、大日本スーパーカーボン株式会社との間で、同社の行う「活性炭を主原料とした」製造事業に関し、事業発展の促進を目的とし、当社がコンサルティング及び業務支援を行うことを合意いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 合意の趣旨

「大日本スーパーカーボン株式会社」は、活性炭を主原料とした製造事業の展開のため設立されました。同社は他社にない技術と特異性及び将来性を持っており、海外メーカーとの協力体制も視野にいた早期の事業拡大を図るため、海外事業部門を持つ当社がその事業展開のコンサルティング及び業務支援を行うことに関し、同社と合意したものであります。

また、同社設立に際して当社の代表取締役渡部敏弘が同社の取締役として経営に参画しております。

2. 提携先の会社の概要

- | | |
|------------|---|
| (1) 商号 | 大日本スーパーカーボン株式会社 |
| (2) 主な事業内容 | 活性炭に関する研究及び製造並びに輸出入に関わる業務 |
| (3) 設立年月日 | 平成15年11月10日 |
| (4) 本店所在地 | 東京都新宿区北新宿1丁目7番21号 京和ビル2階 |
| (5) 役員構成 | 代表取締役 俵 一 (タラ ヒツメ)
取締役 晝間健治 (ヒルマ ケンジ)
取締役 渡部敏弘 (ワタベ トシロ 当社代表取締役社長)
取締役 菅原元彦 (スガハラ モトヒコ)
取締役 矢作大輔 (ヤハセ ダイスケ 当社文化事業部イグゼクティブプロデューサー) |
| (6) 資本の額 | 30,000,000円 |
| (7) 当社との関係 | 資本的关系 該当事項はありません。
人的関係 当社の代表取締役社長渡部敏弘及び文化事業部矢作大輔の2名が同社の取締役を兼務しております。
取引関係 該当事項はありません。 |

3. 日 程

平成15年12月19日 基本合意書締結

4．大日本スーパーカーボン株式会社の事業内容

大日本スーパーカーボン株式会社が製造するスーパーカーボン（超活性炭）は、従来の活性炭には無い大きい表面積と大きさの揃った細孔を持ち、急速に大量の吸収、選別ができる能力があります。これは、同社の技術者が開発した技術により可能となったものであり、特に電気二重層キャパシター、燃料電池などで発揮される性能は他の追従を許さないものがあります。同社の技術者陣は、炭化製品及び活性炭の製造技術、さらにキャパシター、燃料電池の研究者によって構成されており、各界からの技術的要請に応えることが可能です。その他、従来の活性炭の使用による水や空気の脱臭、浄化などに利用しても数十分の1の量でその機能を発揮させることが可能となり、冷蔵庫用の脱臭には従来の1/10以下のサイズの商品が製造でき、オムツやマスクなどデオドラント用品にも利用が可能です。

炭としては、混合状態の油と水を分離吸収する材料に利用でき、土壌の改良、シックハウスの改善など環境問題への対応も可能となります。

将来は、電波吸収材、導電性を利用した温熱用ヒーター、パンタグラフの集電板、また、ガスマスクの材料など広範囲な利用も可能となります。宇宙船の室内環境の維持には不可欠な材料になることも予想されています。

現在、サンプル生産を開始し、平成16年6月より本格生産に入る予定です。

超活性炭の原料は、繊維くず、フェノールくずなどで、産業廃棄物の再利用となり、企業のゼロエミッションへの協力が可能となります。

また、海外メーカーとの協力体制も視野に入っており、世界的規模での製品の販売を企画しています。高性能の活性炭は広範な利用が可能で未来にむけての大きな発展を見込むことができる事業であります。

5．今後の見通し

当社は、この度の基本合意書締結に伴い、同社には早期に製品化を進めていただくとともに、国内外に向けた事業展開を積極的に推し進めてまいります。当社はこれにより、コンサルタントフィーを享受することとなりますが、同事業の展開による業績見通しにつきましては、今後の展開状況を鑑み、具体的な見通しが判明したのちに発表してまいりたいと存じます。

以上